

未来技術社会実装事業の概要

1. 未来技術社会実装事業について
2. 現地支援責任者の業務について

令和3年11月19日

九州地方整備局 道路部 道路情報管理官 谷川征嗣

1. 未来技術社会実装事業

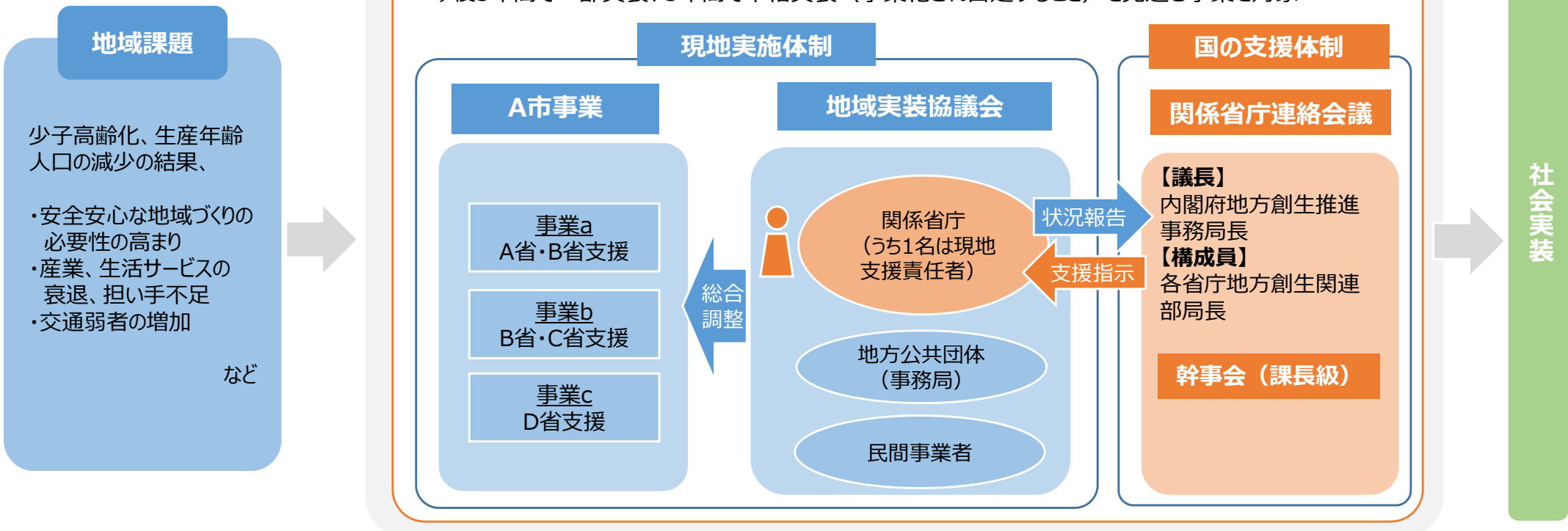
未来技術社会実装事業 概要

概要

- AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から、革新的で先導性と横展開可能性等に優れた提案について、社会実装に向けた関連事業の現地支援体制（地域実装協議会）を構築し、関係府省庁による総合的な支援を行う。
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度に14事業、R1年度に8事業、R2年度に12事業、R3年度に9事業を選定、現在38事業に対して支援を実施中。（H30年度選定の5事業はR2年度末をもって支援を終了。）

事業イメージ

- 未来技術を活用して地域課題の解決を目指す取組を支援
- 関連する事業を一つにパッケージ化し、複数の関係省庁を交えた地域実装協議会にて総合的支援。
- 今後3年間で一部実装、5年間で本格実装（事業化され自走すること）を見込む事業を対象

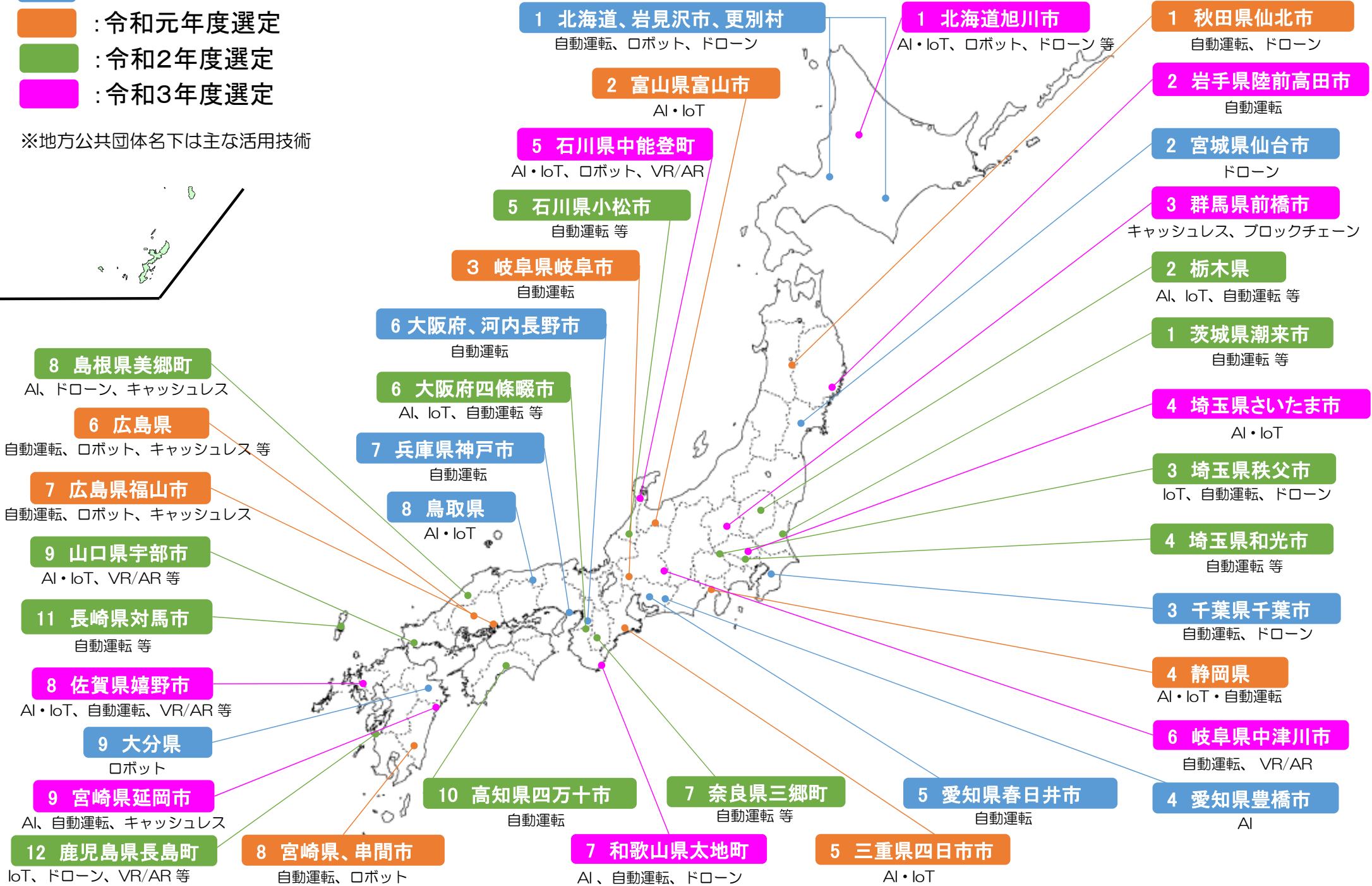
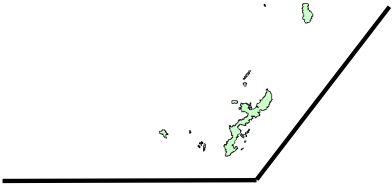


未来技術社会実装事業 一覧

R3.8.24時点

- 平成30年度選定
- 令和元年度選定
- 令和2年度選定
- 令和3年度選定

※地方公共団体名前は主な活用技術



2. 現地支援責任者の業務

現地支援責任者の役割について

現地支援責任者とは

- ・国側構成員より1名を「現地支援責任者」として選定。
- ・「地域実装協議会（現地支援体制）」における、**国側の実務責任者**。

現地支援責任者の役割

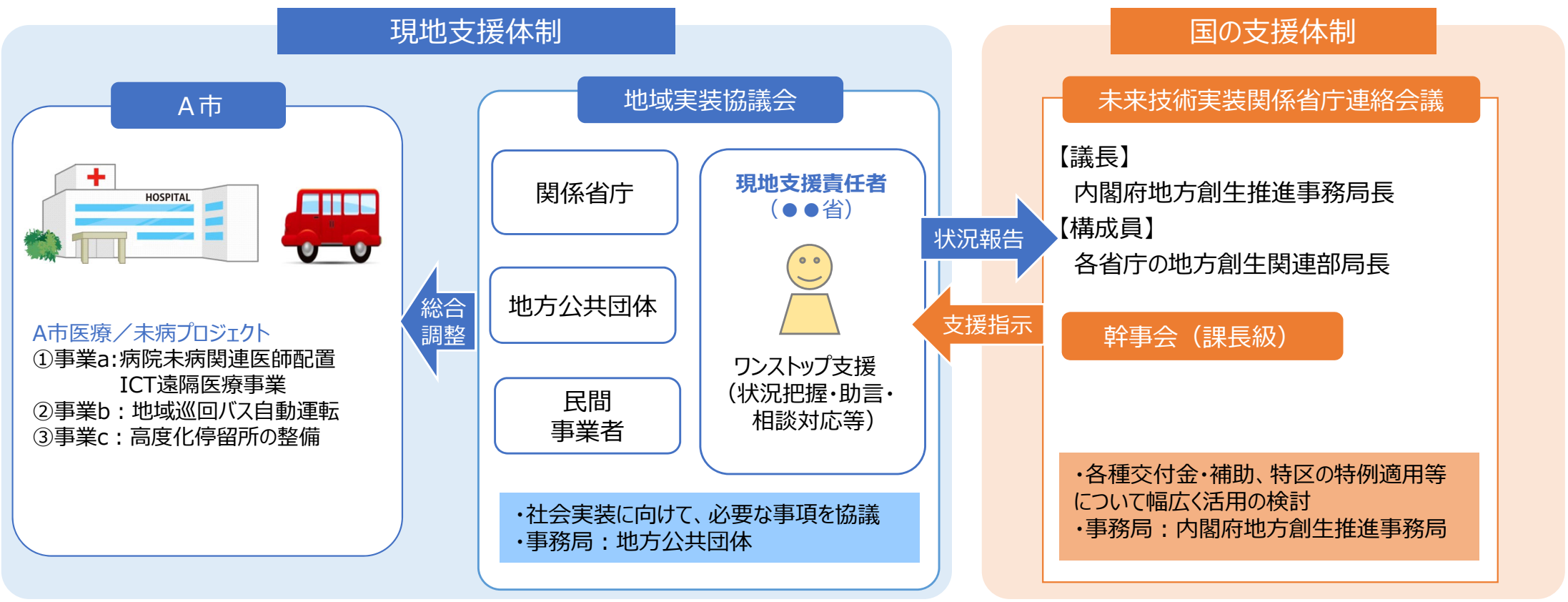
(1) 社会実装に向けたワンストップ支援

「地域実装協議会」における国側の実務責任者として、複数の支援事業間の総合調整、目標の達成状況の把握、地方公共団体等への助言を行う。**特に実装に向けた支援を行う。**

(2) 関係省庁連絡会議への報告

「未来技術実装関係省庁連絡会議」にて、適宜、事業の進捗状況及び課題事項等の報告を行う。

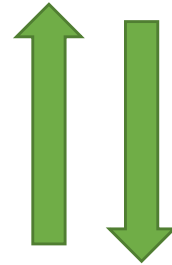
(3) その他、未来技術社会実装事業全般に関する相談への対応



未来技術社会実装事業 支援業務イメージ



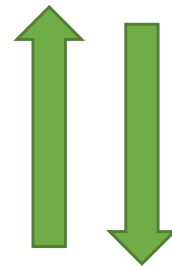
- ・現地支援責任者では対応に支障がある案件の**対応依頼**
- ・取組状況について**所感報告**



- ・対応依頼への**回答**
- ・所感報告を踏まえた**対応指示**
- ・各種照会事項のとりまとめ**内容の共有**



- ・事業に関する**各種相談等**



- ・**相談等への対応**
所掌の範囲内：助言、調整等
所掌外：関係する国側構成員に情報提供、
具体的には当該構成員に相談を
行うよう地方公共団体に依頼
※上記対応が困難な場合は内閣府に対応依頼



・各種照会事項への回答等

- ・現地支援責任者より対応依頼のあった相談事項への対応
- ・各種照会（現地支援責任者にも共有）
- ・その他、内閣府が直接行うことが望ましい事項への対応

選定事業のフォローアップについて

- 選定事業の進捗状況や、各時点での課題、事業を促進・阻害する要因などを把握し、適切なフォローアップができる体制を構築(下図参照)
- 具体的には、「**進行管理シート・現地支援責任者意見表(月1回程度更新)**」、「**課題把握シート(年1回程度更新後は、案件毎に随時フォロー)**」、「**経費調査票(年1回程度更新)**」を組み合わせた管理を実施する。

内閣府地創

(主な役割)

- ✓ 選定事業全体の概況、進捗状況、課題の把握等

① **進行管理シート**
・実績、事業工程等

② **進行管理シート**
・実績、事業工程等

③ **現地支援責任者意見表**
・現地支援責任者から見た
事業の進捗、必要な支援等の報告

現地支援
責任者

(主な役割)

- ✓ 各事業の進捗管理、各種情報提供等

⑤ 共有

④ **課題把握シート**
・法律、規制等

④ **経費調査票**
・各種交付金・補助
金等の経費把握

(随時) 未来技術社会実装事業全般
に関する相談対応

選定自治体

(主な役割)

- ✓ 地域実装協議会の設置・運営、事業の実施、効果測定等